

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和3年3月12日（金）午前9時30分から

会 場：アオーレ長岡東棟4階 大会議室

【会見項目：令和3年4月1日付け人事異動について】

（市長）

令和3年4月1日付けの人事異動について説明します。

新型コロナウイルスの感染対策やワクチン接種をはじめ、大きく変化する社会経済情勢や市民ニーズに柔軟に対応するとともに、持続可能な行財政運営を進めながら、安心して暮らせる地域づくりや、未来への投資と地方分散の受け皿づくりを推進するため、適材適所の人事異動を行います。

異動にあたっては、基本方針としている長期の在課職員の配置替えや若手職員の人材育成のための人事ローテーションを積極的に行うほか、組織改編に伴う人事配置を行いました。

結果、実質的な異動の規模は、前年に比べて40人増の761人となりました。

人事異動の概要を説明します。

特別職について、現在欠員となっている副市長1人に、大滝地域政策監を充て、2人体制に戻します。そして、特別職の地域政策監と危機管理監を廃止し、理事級の一般職として設置します。

一般職について、市政の重要課題である「危機管理」と「地域振興」について、各部局を横断的にまとめるため、経験豊富な人材である野口土木部長を政策監兼危機管理監に、渡邊地方創生推進部長を地域政策監に起用します。

次に、新型コロナウイルスのワクチン接種事業を円滑に進めるため、大矢政策企画課長を担当部長に、植村教育総務課長補佐を室長に、佐藤国民健康保険課付総括副主幹を室長補佐に、それぞれ専任として起用し体制を強化します。

また、安心して暮らせる地域づくりのため、鳥獣被害対策課長に佐々木観光事業課付特命主幹を起用するとともに、地方分権の受け皿づくりのため、ながおか魅力発信課長に山田工業振興課長を起用します。

そして、長岡版イノベーションと男女共同参画の一層の推進を図るため、能力と実績に基づき女性職員を管理職へ積極的に登用します。秘書課長に星野観光企画課長、人事課長に斎藤福

社課長、バイオエコノミー担当課長に斉藤政策企画課シティプロモーション担当課長をそれぞれ登用します。なお、秘書課長および人事課長への女性職員の登用は、長岡市では初めてです。そして、人権男女共同参画課長に穂刈広報課長補佐を、市民課長に吉川市民課中央サービスセンター長をそれぞれ昇任登用します。これにより、女性職員の管理職への登用率は、昨年の11.5%から1ポイント上がって12.5%になる見込みです。

新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、市政の諸課題に対して、新たな体制で部局間の連携を図り、スピーディーかつ的確に対応していきたいと考えています。

(記者)

危機管理監と地域政策監を特別職から一般職に移行することについて、ねらいを教えてください。

(市長)

二つの特別職は、中越地震と市町村合併という大きな課題に対応するために設置したのですが、おおむね通常業務の中で取り組む体制が取れてきました。公務員制度の中で特別職は、政治的行為も可能であるという特別な位置付けになっており、あまり多くは必要ないと考えています。このため、通常の制度に沿った形に変えたいと思い判断しました。

(記者)

新型コロナウイルスのワクチン接種に関する専任職員は何人になりますか。

(総務部長)

担当部長、室長、室長補佐の3人に、既にいる7人を加えて専任職員は合計10人です。そのほかに、保健師を含む兼務職員が27人おり合計37人でワクチン接種事業に対応します。

(記者)

全体の職員のうち女性職員の比率を教えてください。

(総務部長)

令和3年4月1日現在で、全体の職員2,368人のうち女性職員は906人おり、比率は約38%です。

(記者)

市長は以前、職員は男女比率だけでなく、能力によって選んでいくと話されていましたが、今回の約38%という比率をどのように感じていますか。

(市長)

将来的には職員全体や管理職における女性職員の比率が50%になることが一番だと思っています。現在、職員全体の女性職員の比率が約38%という中で、無理に若い女性職員を登用して管理職の比率だけを50%にするのではなく、ある程度の時間をかけて職員全体のうちの女性の

比率が50%に近づいていく中で、管理職も半分は女性職員から出ていくというのが自然な流れだと思っています。

今回、女性職員の管理職への登用率が1%上がったということは、少しずつ底上げされてきていると感じています。

【その他の質問】

(記者)

新型コロナウイルスのワクチン接種について、市のスケジュールなど教えてください。

(市長)

長岡市への4月のワクチン供給量が約1,000人分という情報があり、8万人以上いる高齢者へ一斉接種は難しい状況です。このため、施設に入所している高齢者から行うことで検討しています。

また、5月以降のワクチン供給スケジュールについて、いまだに国や県から情報がありません。今後示される供給スケジュールに合わせて体制を作っていくこととなりますが、相当遅れると思っています。

(記者)

新型コロナウイルスワクチンの4月の供給量が約1,000人分ということですが、どのような施設に入所している高齢者から優先して接種する考えですか。

(市長)

病院に併設されている高齢者施設の方が大体1000人います。その方々を優先する方向で関係者と議論しています。高齢者施設に入所している方の中には、基礎疾患がありワクチン接種によってどういう影響があるのか、施設職員の方も懸念されているところがあります。ご理解いただきながら、手が挙げたところからワクチン接種を行っていくことになると思います。

(記者)

現状を踏まえて、国や県に対して市長からどういう要望をしたいと考えていますか。

(市長)

既に国へ要望書を出していますが、ワクチンの供給スケジュールを明確にして欲しいということと、配送方法を含めた供給体制を確立して欲しいということです。それらの情報がないため、接種スケジュールも方法も具体的な検討ができていません。

(記者)

接種方法は、基本的に集団接種とする方針ですか。

(市長)

集団接種と個別接種を併用していきたいと思います。特に高齢者の基礎疾患がある方は、不安なことがあれば、かかりつけ医に相談しながら接種するのがよいと思っています。

個別接種は、現在、70の医療機関が協力してくれることになっています。今後さらに増やしていきたいと思い医師会にお願いしているところです。

(記者)

新型コロナウイルスに関して、3月に入った頃から長岡市内でも感染者が増えており、県が店名を公表した飲食店もありましたが、市としての対応と市民へのメッセージがあれば教えてください。

(市長)

市内飲食店でクラスターが発生したと認識しています。濃厚接触者全体の把握と感染ルートの解明がポイントだと思っており、県には関係者へのPCR検査をしっかりとやってもらいたいと伝えています。

これから歓送迎会シーズンになりますが、市民の皆さまには、基本的な感染防止対策の徹底と慎重な行動を呼び掛けていきたいと思っています。

(記者)

市として飲食店などへの時短営業要請や、市民への行動自粛などを行う考えはありますか。

(市長)

現状では、そこまでの呼び掛けをする段階にはないと思っています。

(記者)

昨日、市内川崎町の福祉施設で異臭騒ぎあり、施設職員など6人が救急搬送されましたが、消防などを通じて原因などの報告はありましたか。

(危機管理防災本部危機管理防災担当課長)

現時点では原因についての報告は入っていません。

消防からは昨日午前9時26分頃に初報があり、市では万一に備えて、避難所の開設準備などの対応をしていました。消防が現地到着した時点では、既に異臭が収まっていたと聞いています。また、施設内で特殊な薬品などを使ったこともなく、引き続き警察が調査しています。